

## 資 料

- I 共通科目等の授業改善に向けて  
筑波大学共通科目等（授業）改善のためのワーキンググループ
- II 1995年度 筑波大学生 体力・運動能力測定値

## 共通科目等の授業改善に向けて

### 筑波大学共通科目等（授業）改善のためのワーキンググループ

標題の報告書が筑波大学共通科目等（授業）改善のためのワーキンググループから平成7年10月17日付けで発表された。報告書は第1部共通科目等の授業改善に向けての答申，第2部アンケート調査とその評価・見解からなっているが，本資料ではそのなかの体育に関する内容を抽出し，そのまま転載するものである。

## 第 1 部

### 共通科目等の授業改善に向けての答申

#### はじめに

本ワーキング・グループは，平成6年9月20日開催の第227回教育審議会において，設置され，共通科目等の授業方法・内容等の改善について検討を開始した。

平成6年度中に5回の会議を開催するとともに，学生の意見や要望を汲み上げ，改善の方策を検討する基礎資料を作成するため，平成7年2月，各学群・学類の1年次から4年次の学生を対象にアンケート調査を行った。平成7年度は，その結果について集計・分析作業を進め，4回の会議を開き，改善の方策について検討を重ねてきた。

このたび，共通科目等（授業）改善の方策について成案を得たので，ここに答申を行うものである。

#### 第1章 アンケート調査の概要

##### 1.1. アンケート調査の目的

新しい「大学設置基準」（文部省令）が平成3年7月1日より施行され，1）各大学がそれぞれの教育理念に基づき，責任をもって，自由で多様な特色ある教育・研究を展開する，2）生涯学習振興の観点から，大学における学習機会の多様化を図る，3）大学の教育・研究水準の向上や活性化のために自己点検・評価をすべく努力する，ことが求められるようになった。本学においてもこれに対応し，平成4年度により新カリキュラムを導入すると同時に自己点検・評価に努力してきた。

新カリキュラムも既に導入後4年目を迎えたことから，本学の創設時より特色ある教育カリキュラムとして定着してきた共通科目の授業方法・内容の改善を図ることが計画され，第227回教育審議会（平成6年9月20日開催）において「共通科目等（授業）改善のためのワーキング・グループ」が設置された。本ワーキング・グループでは平成6年度中に5回の会議を開催するとともに，共通科目等の改善について学生との懇談会に参加し，検討を重ねた。その結果，共通科目に対する学生の意見や要望を汲み上げ，授業方法や内容の改善の基礎資料とするため，各学群・学類の1年次から4年次の学生を対象にアンケート調査を実施した。

## 1.2. アンケート調査の実施方法と結果の検討

共通科目編成の実務に当たる各教育組織および共通科目担当教官と協議のうえアンケート調査票を作成し、調査票の配布と回収方法は各学群・学類に一任し、平成7年2月13日から2月17日の期間にアンケート調査を実施した。アンケート調査票の回収については、全大会の協力を得た。学生総数9,439名に対し、2,936名（回収率31.1%）より回答を得ることができた。回答者の入学年度別及び学類・専門学群別集計結果は、下記のとおりである。

表1 入学年度別集計

入学年度	回答数	全体での割合	学年別回収率	
(1) 1994	930	31.8%	1年	41.1%
(2) 1993	832	28.5%	2年	37.2%
(3) 1992	653	22.3%	3年	30.1%
(4) 1991	462	15.8%	4年	18.5%
(5) 1990以前	39	1.3%		
その他・無回答	20	—%		

表2 所属する学類・専門学群別集計

学類・専門学群	回答数	全体での割合	学類・専門学群別回収率
(1) 人文学類	122	4.1%	21.3%
(2) 社会学類	100	3.4%	19.0%
(3) 自然科学類	267	9.1%	27.6%
(4) 比較文化学類	184	6.3%	45.5%
(5) 日本語・日本文化学類	52	1.7%	14.0%
(6) 人間学類	256	8.7%	47.2%
(7) 生物学類	209	7.1%	58.2%
(8) 生物資源学類	295	10.1%	43.6%
(9) 社会工学類	174	5.9%	28.7%
(10) 国際関係学類	35	1.2%	8.2%
(11) 情報学類	89	3.0%	16.3%
(12) 工学システム学類	77	2.6%	21.4%
(13) 基礎工学類	279	9.5%	31.4%
(14) 医学専門学群	82	2.8%	13.3%
(15) 体育専門学群	540	18.5%	52.5%
(16) 芸術専門学群	154	5.2%	31.7%
その他・無回答	21	—%	—%

アンケート調査の結果は、選択肢に関する部分については回答をマークシートに転記し、コンピュータを用いて集計を行った。また、自由記述に関する部分については、記載された内容を全て抜き出して資料を作成した。

アンケート調査の結果は、平成7年度「共通科目等（授業）改善のためのワーキング・グループ」の4回の会議で検討されるとともに、共通科目編成の実務に当たる各教育組織選出の共通科目担当教官に対して提示された。アンケート調査の結果から、抽出された問題点とその改善案について討議を重ね、平成8年度のカリキュラム編成にアンケート調査の結果が反映されるよう、改善案の作成作業が行われた。

## 第2章 各共通科目等の授業改善案

### 2.1. 総合科目

- 1) コアの・学際的・教養的科目という区分の廃止を検討する。
- 2) 科目区分を存続させる場合には、コアの科目の廃止を検討し、学際的科目と教養的科目については、授業内容を科目区分に合うようにする。
- 3) 総合科目が全学共通科目として月曜日の1・2時限にのみ固定時間割として開設されていることを十分に認識し、この時間帯には1・2年生向けの専門科目を開設しないように、周知徹底する。
- 4) 受講生数の適正規模、受講制限の方法、推薦科目の是非を検討する。
- 5) 授業内容の充実、特に、授業内容の一貫性・統一性をはかるために、一つの科目の担当教官数を適正化するようにつとめる。
- 6) 総合科目は基本的に1・2年生が一般教育科目として履修していることを念頭に置き、専門性が過度に高くないように配慮して授業の内容と構成を考える。
- 7) 今後開講科目の再検討を行う際には、できるだけ学生の要望を聞き、受講生の興味と関心をひくテーマやトピックを取り入れる。
- 8) シラバスは、受講生がどのような内容を必要としているかを的確に把握し、さらに一層の充実をはかるとともに、受講生にシラバス利用を促す方策を考える。
- 9) 担当教官は、総合科目が全学生の受講する重要な科目であることを認識し、少なくとも講義に対する熱意について学生から疑念をもたれることのないように心がける。
- 10) 出欠確認は、単位認定にも関わるので、教室補助制度を活用しながら、一貫して行うようにする。

なお、このうち、次の5点については総合科目編成室および総合科目編成委員会において、平成8年度授業編成で改善に向けてすでに検討が進んでいる。

- 1) コアの・学際的・教養的科目という区分の廃止
- 2) 推薦科目の再検討
- 3) 固定時間割の趣旨の徹底
- 4) 授業担当者の数をあまり多くしない
- 5) 授業担当者は総合科目の重要性を認識する

## 2.2. 体 育

### 1) 必要単位数について

4単位以上、4単位、3単位以上を希望している学生は54%、2単位・2単位以下を希望している学生は44%で、数字的にほぼ同じ傾向にあるので、単位数増への希望は〈自由科目の卒業要件単位への認定〉と〈必修縛りの緩和・弾力化〉等で実現できるように、各教育組織での再検討が期待される。

### 2) 授業の開設形態について

第1希望科目の受講、開設科目数の増設、集中型科目の増設について強い希望が出ているが、これらを実現するには教員数、施設の規模等ハードの面で困難な課題が多いので、どこまでソフトの工夫で改善できるかを今後一層努力する必要がある。

### 3) 教官の授業運営について

授業の満足度や学習効果についての好意的な回答にも現れているように、授業運営は概ね適切に行われていたとしてよい。しかし、学生は「体育」に「気持ちのよい汗」と「気分転換」を期待するが、「大学体育」は「大学のアカデミズムに馴染むか」との一部の議論もあるので、これからも鋭意工夫を重ねていく必要がある。

### 4) 自由科目「体育」について

自由科目「体育」については、開設を知らなかった学生がみられるので、オリエンテーション等の在り方を改善していきたい。また、自由科目を卒業の要件単位として認定して欲しいとの希望が多く見られるので、各専門学群・学類および全学的な検討の機会がもたれることが期待される。

### 5) 集中実技について

集中型の科目の増設や実施時期についての要望については、学内以外での実習という要件や担当教官の出張等の規制もあるので、制度的なものと照らし合わせながら、これからも検討していきたい。

## 第3章 共通科目等授業改善のための今後の課題

本章では、各科目等の担当委員がまとめた改善案と学群選出委員の意見を総合し、各科目に比較的共通する課題についてまとめてみたい。

### 3.1. 共通科目等の授業のあり方について

本学は開学以来、本学独自の方式により、共通科目として一般教育を行ってきた。このアンケート結果を読むと、履修単位数の削減や固定時間割りへの専門科目の浸食がみられる。

各学類における専門教育の充実も必要であるが、一般教育の充実は本学の学群レベルの教育において最重要課題の一つと考えられる。

学類・専門学群においては共通科目等のあり方を広い視野から検討すべきである。また、大学全体としては、開学以来22年を経過し、大学設置基準の大綱化以来4年が過ぎようとしている現在、本学における一般教育の更なる充実へ向けて、共通科目の授業は如何にあるべきかを、方法、内容、単位数等について、やや長期的視点から根本的に検討する必要がある。

### 3.2. 講義内容について

各科目ごとに講義内容の充実へ向けて常に努力すべきである。教官は、共通科目等が主として1・2年生を対象とするいわゆる一般教育であることをよく認識すべきである。

受講生の意見や要望を取り入れつつも、迎合することなく、教官の信念と熱意に基づいた内容の講義を提供すべきである。このためには、教官は授業方法の是非について常に自己点検の姿勢を持ちつづけるべきである。

また、科目としての統一性は望ましいが、国語に関するアンケート調査では統一性の要望より担当教官の専門を生かした授業を望む声が強いので、各科目ごとに適正な内容の授業の構成を検討すべきである。

授業内容の充実が教官個人の努力のみでは達成できない場合もある。受講生の人数の適正化（総合科目、体育）、専任教官の不足の解消（国語）、設備および施設の改善・充実（体育、情報処理）などの方策の検討が求められる。授業内容の充実と教官の負担軽減のため、教室補助者の積極的な導入を検討する必要がある。

### 3.3. シラバスについて

全科目においてシラバスのさらなる充実が求められる。一方、学生のシラバス利用率は、必ずしも高くないので、受講生に対してはシラバスの利用をより強力に推奨する必要がある。

### 3.4. その他

国語のアンケート結果の中で「作文指導をできるだけ多く」との回答が目立つ（35.6%）。文章の表現力を養うことは大学生として必須の条件であり、そのためには、日本語の理解を深め、書くべき内容を明確に捉える思考力と書く技術とが必要である。

作文指導に適した少人数制の授業形態の実現には困難もあるが、この授業改善に向けた方策の検討がなされるべきである。

### おわりに

共通科目等の授業改善へ向けて行った学生のアンケート調査結果を集計・分析し、その評価と見解をまとめた。この内容の中には謙虚に受け止め、改善策を至急検討しなければならない事項も少なくない。また、ここにあげた検討課題の実施に当たっては担当教官（群）や学類・専門学群の努力のみでは達成できないものも多い。

本学の共通科目等（一般教育）のさらなる改善・充実のためには、大学全体としても強力な改善の方策を打ち出す必要がある。

## 第 2 部

### アンケート調査とその評価・見解

#### 第2章 体 育

##### 2.1. 「体育」に関する質問と回答

あなたのこれまで受講した共通科目「体育」についてお聞きします。該当する項目の番号を□の

回答欄に記入して下さい。

1. あなたが受講した「体育」の授業に満足しましたか。[15]

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| (1) 大変満足した。     | 837 (33.3%)  |
| (2) 概ね満足した。     | 1307 (52.0%) |
| (3) あまり満足しなかった。 | 283 (11.2%)  |
| (4) 全く満足しなかった。  | 82 (3.2%)    |
| その他・無回答         | 427 ( -%)    |

2. あなたが受講した「体育」の学習効果についてお聞きします。以下の項目に関して選択肢から一つを選び、その番号を□の回答欄に記入して下さい。2年次以上の方は複数の授業を総合するか、あるいは最近受講した授業について回答して下さい。

【選択肢】

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| (1) 大変効果があった。   | (2) わりに効果があった。 |
| (3) あまり効果はなかった。 | (4) 全く効果はなかった。 |

2-1. 健康や体力の維持・増進の方法を学ぶこと。[16]

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) 大変効果があった。   | 443 (17.7%) |
| (2) わりに効果があった。  | 992 (39.6%) |
| (3) あまり効果はなかった。 | 850 (33.9%) |
| (4) 全く効果はなかった。  | 216 (8.6%)  |
| その他・無回答         | 435 ( -%)   |

2-2. 生涯スポーツへの動機づけとしての有益性。[17]

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) 大変効果があった。   | 524 (20.9%) |
| (2) わりに効果があった。  | 929 (37.1%) |
| (3) あまり効果はなかった。 | 763 (30.5%) |
| (4) 全く効果はなかった。  | 284 (11.3%) |
| その他・無回答         | 436 ( -%)   |

2-3. 人間性や感受性を豊かにする効果。[18]

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) 大変効果があった。   | 336 (13.4%) |
| (2) わりに効果があった。  | 788 (31.5%) |
| (3) あまり効果はなかった。 | 982 (39.3%) |
| (4) 全く効果はなかった。  | 390 (15.6%) |
| その他・無回答         | 440 ( -%)   |

2-4. 日常の勉学活動の活力増進。[19]

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) 大変効果があった。   | 289 (11.5%) |
| (2) わりに効果があった。  | 631 (25.2%) |
| (3) あまり効果はなかった。 | 987 (39.5%) |
| (4) 全く効果はなかった。  | 591 (23.6%) |
| その他・無回答         | 438 ( -%)   |

2-5. 自分の身体能力・運動能力の開発。[20]

- |                |              |
|----------------|--------------|
| (1) 大変効果があった。  | 447 (17.8%)  |
| (2) わりに効果があった。 | 1019 (40.7%) |

- (3) あまり効果はなかった。 .....775 (31.0%)  
 (4) 全く効果はなかった。 .....259 (10.3%)  
 その他・無回答 .....436 ( -%)
- 2-6. スポーツの規則・技術・戦術を学び、より深く楽しむこと。[21]  
 (1) 大変効果があった。 .....660 (26.4%)  
 (2) わりに効果があった。 .....1124 (45.0%)  
 (3) あまり効果はなかった。 .....523 (20.9%)  
 (4) 全く効果はなかった。 .....190 ( 7.6%)  
 その他・無回答 .....439 ( -%)
- 2-7. 運動実技を通じて爽快感を得たり、気分転換をはかること。[22]  
 (1) 大変効果があった。 .....1112 (44.4%)  
 (2) わりに効果があった。 .....988 (39.5%)  
 (3) あまり効果はなかった。 .....279 (11.1%)  
 (4) 全く効果はなかった。 .....120 ( 4.8%)  
 その他・無回答 .....437 ( -%)
- 2-8. 授業を介して学類を越え、幅広く、交友関係をつくること。[23]  
 (1) 大変効果があった。 .....461 (18.4%)  
 (2) わりに効果があった。 .....865 (34.6%)  
 (3) あまり効果はなかった。 .....766 (30.7%)  
 (4) 全く効果はなかった。 .....402 (16.1%)  
 その他・無回答 .....442 ( -%)
3. 「体育」の必修単位数についてお聞きします。
- 3-1. あなたが取得しなければならない「体育」の必修単位数は？ [24]  
 (1) 4単位 .....719 (30.3%)  
 (2) 3単位 .....664 (28.0%)  
 (3) 2単位 .....988 (41.6%)  
 (4) その他・無回答 .....565 ( -%)
- 3-2. あなたは「体育」の必修単位数はどのくらいが適切だと思いますか。[25]  
 (1) 4単位以上 .....210 ( 8.6%)  
 (2) 4単位 .....464 (19.0%)  
 (3) 3単位 .....678 (27.8%)  
 (4) 2単位 .....753 (30.9%)  
 (5) 2単位以下 .....330 (13.5%)  
 その他・無回答 .....501 ( -%)
4. 共通科目「体育」の授業開設形態に対する意見をお聞きします。以下の項目に関して選択肢から一つを選び、その番号を□の回答欄に記入して下さい。

**【選択肢】**

- (1) すぐにでも実現してほしい。      (2) 実現できるよう配慮してほしい。  
 (3) とくに実現しなくともよい。



4-1. 必修科目「体育」の開設科目数をもっと増やすこと。[26]

- (1) すぐにも実現してほしい。……………967 (39.2%)
- (2) 実現できるよう配慮してほしい。……………864 (35.0%)
- (3) とくに実現しなくともよい。……………632 (25.6%)
- その他・無回答……………473 ( -%)

4-2. 第1希望の科目が受講できるようにすること。[27]

- (1) すぐにも実現してほしい。……………1582 (64.2%)
- (2) 実現できるよう配慮してほしい。……………756 (30.7%)
- (3) とくに実現しなくともよい。……………124 ( 5.0%)
- その他・無回答……………474 ( -%)

4-3. 集中型の科目の開設をもっと増やすこと。[28]

- (1) すぐにも実現してほしい。……………715 (29.0%)
- (2) 実現できるよう配慮してほしい。……………877 (35.6%)
- (3) とくに実現しなくともよい。……………871 (35.3%)
- その他・無回答……………473 ( -%)

5. 「体育」の自由科目として全学年対象に通年実技・演習・集中実技が開設されています。その自由科目「体育」についてお聞きします。該当する番号を□の回答欄に記入して下さい。設問の前後関係で回答できない場合は回答しなくとも構いません。

5-1. 受講したい自由科目「体育」がありましたか。[29]

- (1) あった。……………1269 (52.3%)
- (2) なかった。……………624 (25.7%)
- (3) 知らなかった。(開設科目一覧表を見ていない)……………531 (21.9%)
- その他・無回答……………512 ( -%)

5-2. 受講したい自由科目「体育」があっても取れなかった経験がありましたか。[30]

- (1) なかった。……………715 (30.9%)
- (2) あった。(時間割の都合などで)……………772 (33.3%)
- (3) そもそも受講する気はなかった。……………826 (35.7%)
- その他・無回答……………623 ( -%)

5-3. 自由科目「体育」の取得単位を卒業に必要な単位(各学類・専門学群の自由科目単位)として認めるべきだと思いますか。[31]

- (1) 是非認めるべきである。……………1051 (43.7%)
- (2) できたら認めてほしい。……………737 (30.6%)
- (3) 現状のままでよい。……………484 (20.1%)
- (4) 認めるべきでない。……………131 ( 5.4%)
- その他・無回答……………533 ( -%)

6. あなたが受講した「体育」の担当教官の指導について印象をお聞きします。以下の項目に関して選択肢から一つを選び、その番号を□の回答欄に記入して下さい。2年次以上の方は複数の授業を総合するか、あるいは最近受講した授業について回答して下さい。

【選択肢】

- (1) おおいに感じられた。
- (2) 概ね感じられた。

(3) あまり感じられなかった。 (4) 全く感じられなかった。

6-1. 授業に熱意・工夫があった。[32]

(1) おおいに感じられた。 .....	1100 (44.3%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1126 (45.4%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	205 ( 8.2%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	48 ( 1.9%)
その他・無回答 .....	457 ( -%)

6-2. 受講生の理解度や技術向上に配慮があった。[33]

(1) おおいに感じられた。 .....	920 (37.1%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1187 (47.9%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	305 (12.3%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	63 ( 2.5%)
その他・無回答 .....	461 ( -%)

6-3. 授業の内容は専門性が高かった。[34]

(1) おおいに感じられた。 .....	488 (19.7%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1010 (40.7%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	838 (33.8%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	140 ( 5.6%)
その他・無回答 .....	460 ( -%)

6-4. 授業の内容は充実していた。[35]

(1) おおいに感じられた。 .....	903 (36.4%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1215 (49.1%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	290 (11.7%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	66 ( 2.6%)
その他・無回答 .....	462 ( -%)

6-5. 計画性があり、時間配分は適切であった。[36]

(1) おおいに感じられた。 .....	733 (29.6%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1199 (48.5%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	440 (17.7%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	100 ( 4.0%)
その他・無回答 .....	464 ( -%)

6-6. 受講生とのコミュニケーションに努めていた。[37]

(1) おおいに感じられた。 .....	1085 (43.8%)
(2) 概ね感じられた。 .....	1028 (41.5%)
(3) あまり感じられなかった。 .....	294 (11.8%)
(4) 全く感じられなかった。 .....	66 ( 2.6%)
その他・無回答 .....	463 ( -%)

## 2. 2. 回答に関する評価・見解

### 1. 授業の満足度（質問1）

授業の満足度は肯定的84%，否定的14%で，過去の体育センターの調査とほぼ同一の結果が得られた。なお，無回答の326は「体育」のない体育専門学群の回収数386にはほぼ相当している。

\*体育センターでは，過去にもっと詳しい満足度調査を数回に亘って行ってきたが，そのクロス集計によれば「満足していない学生」の80%以上が大学における学生生活全般に満足しておらず，更にその大半が「無気力で，無目的」な生活をしていることが知られている。「体育」によらず，より総合的な戦略を必要としているのだろう。

### 2. 学習効果（質問2-1～2-8）

学習効果については，シラバスに紹介された「体育の目標」に沿ってその効果を問うている。肯定的な回答が大きかった達成目標は，

規則・技術・戦術を学び，深く楽しむ : 肯定的70%，否定的28%

爽快感，気分転換 : 肯定的83%，否定的15%

の2項目で，これはまた学生の期待する「体育」の基本的なイメージであるとも言える。僅かに肯定的な回答が勝るが否定的な回答も大きなものには，

健康・体力の維持・増進の方法を学ぶ : 肯定的57%，否定的41%

生涯スポーツへの動機づけ : 肯定的57%，否定的44%

身体・運動能力の開発 : 肯定的57%，否定的41%

幅広い交友関係の育成 : 肯定的52%，否定的46%

の4項目があった。よく「体育問題」として組上に載せられる小・中・高の学習に，大学として更に何を加えることが出来るかが問われている課題である。ここには，共通体育の目的から外れず，しかも専門に陥らずに，尚新たに上乘せすべき課題の量質の問題が問われており，その難しさが伺われる。それはまた，学生の個性や時代の価値観といったものとも深く関係してくるものであるから，レディネスの把握の方法，動機づけの改善によって，この比を一層改善する方向に向かう必要があるだろう。検討してゆきたい。

肯定と否定がイーブンであったものや否定が肯定に勝ったものは，

人間性・感受性を豊かに : 肯定的44%，否定的44%

日常の勉学活動の活力増進 : 肯定的35%，否定的62%

であった。活力の増進に関しては，週1回の授業の限界を示すもので，授業が生活全体の動機やリズムを与えるものであっても，それを全面的にサポートしうるものでないが故に，ガイダンスやオリエンテーションの在り方を考えてゆかなければならないだろう。

### 3. 必修単位数（質問3-1～3-2）

必修単位数については，回収数の56%が4単位，3単位必修の学生（各28%ずつ），42%が2単位必修の学生であったが，4単位以上，4単位，3単位以上を希望している学生は54%，2単位・3単位以下を希望している学生は44%で，数字的にはほぼ同じ傾向にある。現在の状況と希望の分布の相関が知りたいところである。ただ，これまでに行われた体育センターでの調査によれば，3年次生の体育受講希望が少なく，更に3年次生が「4年次に体育など取ってられるか」と言った意見が見られるにも関わらず，4年次生が半期を越えてから「4年次にこそ体育は必修であるべきだ」としていたことに大きな特徴が見られた。運動不足には，飢餓感のようにそれを感じず生理的な中枢や感覚器がない。運動を動機づけるものは学習された価

値観と意志以外にないだけに慎重にこの数字を解釈したい。

#### 4. 授業の開設形態に関する意見（質問4-1～4-3）

授業の開設形態に関する意見については、それらの実現を「希望する」と「特にしない」を比較してみた。ここでは、授業形態の改善に関する具体的な方向性が示唆されている。

第1希望の受講 : 希望する94%, 特にしない 4%

開設科目数の増設 : 希望する73%, 特にしない24%

集中型の増設 : 希望する64%, 特にしない35%

これらを実現するには教員数、施設の規模等ハードの面で困難な課題が多い、どこまでソフトの工夫で改善できるか、一層の努力をしていきたい。

#### 5. 自由科目「体育」について（質問5-1～5-3）

自由科目「体育」については、受講したい科目が「あった」52%、「なかった」25%で、概ね学生の希望する科目の開設に漕ぎ着けていたと評価できる。しかし「開設を知らなかった」とする21%の学生の存在は、これからのオリエンテーション等の在り方を改善してゆくべきであろう。また、開設自由科目中に時間割等の関係から受講できなかったとする者が33%おり、しかも自由科目を卒業の要件単位として認定して欲しい希望が74%にも及びんでいる。これらのことを、現在の学生が進路等からみてより一般学生的な性格の強い傾向を併せて考えるとき、各学群・学類のより柔軟な枠の設定はもとより、全学的な検討の機会がもたれることを期待する次第である。

#### 6. 教官の授業運営について（質問6-1～6-6）

教官の授業運営の状況については、

授業への熱意・工夫 : あった89%, なかった 9%

学生の理解度・技術向上に対する配慮 : あった84%, なかった14%

授業内容の専門性 : あった60%, なかった38%

授業内容の充実 : あった85%, なかった13%

計画性・時間配分の適切 : あった78%, なかった20%

学生とのコミュニケーション : あった84%, なかった13%

以上から、授業運営は概ね適切に行われていたとしてよいだろう。これらの内容と単位数の希望、学群・学類別集計等とのクロス集計が見たいものである。授業内容の専門性の問題は難しい面を含んでいる。学生の多くは「体育」に「気持ちのよい汗」と「気分転換」を期待している。それゆえに「大学体育」は「大学のアカデミズムに馴染むか」と問う一部の人もいる。このズレが「体育」の授業目的や授業特性を設定しにくいものになっているからである。これからも鋭意工夫を重ねてゆきたい。

### 2.3. 自由記述意見の要約とそれに対する見解

アンケートの自由記述による意見を、内容別に6項目に分けてその傾向を示し、必要なものには見解を添え

#### 1. 単位数について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
増を希望	6	6	7	8	27
減を希望	5	5	7	1	18

全学的な単位統一を希望

3

3

増の希望が大きく減の希望に勝る4学年、全学統一を希望した3学年の意見をどのように受けとめるか意見の分れるところであろう。わずかな数とはいえ、学年の進行と共に増す、単位数増への希望は〈自由科目の卒業要件単位への認定〉と〈必修縛りの緩和・弾力化〉等で実現できるように、各教育組織での再検討が期待される。

## 2. 履修科目について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
第1希望の科目が取れるように	33	13	8	19	73
開設科目の充実	31	32	33	12	108
定員数の増大	3	1			4

質問6（教官の授業運営について）で見たような充実を図るためには、これ以上の定員数の増加は何としても避けたいが、第1希望を取れるようにするための工夫はこれからも継続してゆかなければならないだろう。開設科目については1～2学年にはそれぞれの学年の課題が設定されており、それらの理解が未だ十分に得られていないこともあると予想される。したがって、希望科目開設の努力と共に一層動機づけに対する工夫も必要であると考えられる。

## 3. 履修時限について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
1時限を避ける	23	3	9	4	39
2時限に授業を		1	1		2
3時限に授業を		1	1		2
午後の授業を避ける		1			1

積極的な意味を持つ意見として取り上げるまでもない考える。

## 4. 授業について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
講 義 肯定的意見				1	1
否定的意見	6	9	2		17
専門性 肯定的意見	1	1	3	2	7
否定的意見	3	3	2		8
授業内容よかった（楽しかった）	12	9	8	6	35
よくなかった	2		1		3
能力・男女差を考慮した授業を	14	4	5	8	31
移動時間を考慮して欲しい	13	8	11	3	35
学期毎に異なった種目を	7	3	1		11
ゲーム中心の授業を	6	2		2	10
定員を少なく		2	3		5
説明が多すぎる	2	2			4
レポートを課するのはよくない		1	1	2	4
教室補助者の活用		2		1	3
雨天・荒天時の授業の工夫を	1			2	3

この他に、知識の習得を重点に、運動量を増やすべき、楽しくやりたい、初心者対象に基礎的

な指導を、寒稽古に参加させるのはよくない、などがあった。個々の教員が教授技術を工夫しなければならぬものもあるが、寒稽古の参加などまたとない経験の機会でもあり、動機づけ等に一層の工夫があるものと考えられる。

#### 5. 集中実技について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
開設科目を多く		1	2	2	5
1・2年次にも履修できるように	1	1	3		5

この他に1～3月の時期に実施して欲しい、年度末科目のオリエンテーションを早くして欲しい、長期休暇以外の開設を望むなどがあった。1・2年次の履修については、自由科目と相互乗り入れの問題がある。また、集中実技については、学内以外での実習という要件もあって、出張制度等の規約等に制限されているものもある。いずれも制度的なものと照らし合せながら、これからも検討してゆかなければならぬだろう。

#### 6. 自由科目について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
開設科目を多く					
通年	1	3	6	1	11
集中	1	1	3		5

この他に、受講制限をなくす、午前にも開講して欲しい、土日曜日での開講を望むなどがあった。「大学拡張」「大学延長」などともからんで、検討を要するところであろう。

#### 7. その他について

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	全 体
週2回以上の実施を	7	1	1	4	13
学群・学類の履修枠を外す	6	2	2	4	14
教官					
よい	11	6	5	1	23
よくない	1	2	1	6	10
75分では不足	4			2	6
体育は必修でなくてもよい	2	2	2		6
体育はなくてもよい	3	1	1	1	6
体育は4年次までやるべき		2	1	3	6
体育は4年次までは必要ない			1	4	5
体育は現状のままでよい	1	2		1	4
体育は全て自由科目に	1	1		2	4
休講が多い	2	1			3
4年次の時限設定がよくない				3	3

この他に、体育は土曜日に、追加オリエンテーションの改善、必修・自由共に卒業要件単位に加えて欲しいなどがあった。全体として否定的な要件は極く少数であった。卒業要件単位・必修単位にからむ問題、時限設定等、体育センターが主体的に関われなかったもの、これからも関われぬものもあり、これらの改善を目指して総合的な見直しの機会が与えられることを望む。

## 2.4. 今後の改善検討課題

### 1) 必要単位数について

4単位以上、4単位、3単位以上を希望している学生は54%、2単位・2単位以下を希望している学生は44%で、数字的にはほぼ同じ傾向にあるので、単位数増への希望は〈自由科目の卒業要件単位への認定〉と〈必修縛りの緩和・弾力化〉等で実現できるように、各教育組織での再検討が期待される。

### 2) 授業の開設形態について

第1希望科目の受講、開設科目数の増設、集中型科目の増設について強い希望が出ているが、これらを実現するには教員数、施設の規模等ハード面で困難な課題が多いので、どこまでソフトの工夫で改善できるかを今後一層努力する必要がある。

### 3) 教官の授業運営について

授業の満足度や学習効果についての好意的な回答にも現れているように、授業運営は概ね適切に行われていたとしてよい。しかし、学生は「体育」に「気持ちのよい汗」と「気分転換」を期待するが、「大学体育」は「大学のアカデミズムに馴染むか」との一部の議論もあるので、これからも鋭意工夫を重ねていく必要がある。

### 4) 自由科目「体育」について

自由科目「体育」については、開設を知らなかった学生がみられるので、オリエンテーション等の在り方を改善していきたい。また、自由科目を卒業の要件単位として認定して欲しいとの希望が多く見られるので、各専門学群・学類および全学的な検討の機会がもたれることが期待される。

### 5) 集中実技について

集中型の科目の増設や実施時期についての要望については、学内以外での実習という要件や担当教官の出張等の規定もあるので、制度的なものと同様に照らし合わせながら、これからも検討していきたい。